

旅するチョウ(蝶) アサギマダラ

アサギマダラは旅をするチョウです。

1980年ごろから始められたマーキングという調査方法によって、

春は南から北へ、秋には北から南へ、

まるでツバメのように移動することがわかってきました。

それでも、まだまだわからないことが、たくさんあります。

どこを飛んでいくの？ どの国まで飛んでいくの？ 旅の目的は？

移動先で何を食べているの？ などなど・・・。

これらのなぞ解きに、あなたも参加しませんか？

●アサギマダラに国境はありません！

(移動の例)



(春の北上例)

① 台湾陽明山→滋賀県大津市

1,790km 39日間

② 長崎県新上五島町→韓国江原道

540km 31日間

(秋の南下例)

③ 福島県北塩原村→台湾獅頭山

2,231km 78日間

④ 石川県輪島市→中国浙江省

1,644km 69日間

⑤ 和歌山県日高町→高知県香美市→中国香港

2,500km 83日間

アサギマダラの一生



① 産卵中のメス

移動した先々にあ
るガガイモの仲間
に産みます



② 卵

本当の大きさは
1.5mm くらい



③ 2 齢幼虫

若齢期だけの
ふしぎな食べ方



④ 終齢幼虫

タイガーもようは
警告色。

そのひみつは食草に



⑤ さなぎ

銀色を散らした
緑色は保護色？



オスにだけある黒い紋

きゅうみつ

⑥ 吸蜜中のオス

アサギマダラの姿は

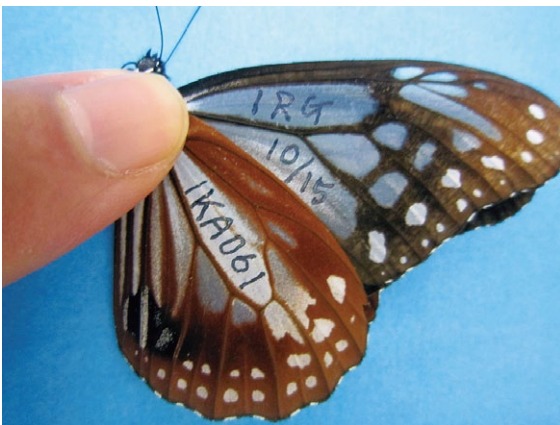
繊細で美しい



アサギマダラが飛来する季節と植物

アサギマダラは、北は北海道から南は沖縄まで全国で見られますが、ツバメのように『^{わた}渡り』をするので、見られる季節は地域によってちがいます。寒い季節は暖かい地方に、暑い季節は涼しい地方や高い山に移動するのです。もうひとつ重要なのは、アサギマダラは特別に好む植物があるということです。これらに注意して探せば、たくさんのアサギマダラに出会えます。

季節	よく見られる地域	よく飛来する植物
11月～4月	南西諸島	センダングサ類、スイゼンジナ、モンパノキ
4月～6月	九州、四国、本州西部の海岸や山地	スナビキソウ、ウツギ、オオルリソウ、ナルトサワギク
7月～9月	全国の標高1,000m以上の高原	ヨツバヒヨドリ、ノリウツギ
9月～11月	全国の山地・平野部・海岸 (秋が深まるにつれて、南へ移動していきます)	フジバカマなどのヒヨドリバナ類、アザミ類、ツワブキ、オタカラコウ、コシアブラ、ミズヒマワリ



マーキングに“チョウ戦”しよう!

- ① 油性のサインペン(極細)で標識(マーキング)します。
(左の写真と下のノートを参考に)
- ② ノートにも記録しておきます。

【ノートの記録内容】

- ・**鮮度**は3段階(新鮮(N)・中(M)・古い(O))で書く。
- ・**交尾痕**の有無を書く。
(交尾痕は♀の尾端にのみある。写真のピンクの○部分)
- ・**標識のあるアサギマダラ**を捕獲または撮影した場合は、大阪市立自然史博物館(このページの下部参照)までご連絡ください。(現地標識があるものは、記録だけ取って放してください)



場所 愛知県田原市伊良湖岬		天候 晴れ		気温 21～25℃		標識 2012年10月15日・標識者: 金沢 至	
標識者・番号	場所・日付	雌雄	交尾痕	鮮度	時間	地点名	行動・訪花植物名など
IKA 061	IRG 10/15	♂		N	10:53	遊歩道	ヒヨドリバナ類に訪花中



移動情報の入手・発信・照会について (次の連絡先までEメールまたは電話でお問い合わせください。)

移動情報やメーリングリスト(asagi)への参加方法などをご案内します。

大阪市立自然史博物館(金沢 至) 電話番号:06-6697-6221 Eメール: kana@mus-nh.city.osaka.jp

監修: アサギマダラを調べる会 編集・発行: BV アサギマダラの会 (全労済地域貢献助成事業)

写真提供: 大原賢二、小畑博司、金沢 至、金田 忍、田口 誠、藤野適宏、吉本 武